

令和5年2月子どもの姿

<おにはそと！ふくはうち！>

節分が近づくとつれ、幼稚園のあちらこちらに、小鬼たちの姿が見られるようになりました。小鬼たちは、突然現れるのでびっくりです！一番最初に現れたのは年長児の鬼たちでした。



職員室に
現れる！



次は、りす組だ！
(年少)



年中たんぼぼ組は
梱包用の紙で作った
豆で鬼退治！



りす組のおこりん
ぼう鬼も現れる！

2月3日、年長すみれ組の大鬼たちから放送が入りました。「真ん中鬼！小さい鬼！ホールに集合じゃ！」そして、ぞろぞろと集まってきた矢田南幼稚園の鬼たち！みんな手に梱包用の紙や新聞紙で作った豆を持っています。



「どんな鬼がいるかな？」と聞くと「泣き虫鬼」「いやいや鬼」「好き嫌い鬼」・・・。「そんな鬼を追い出そう！」と話をすると、小鬼たちの豆まきが始まりました。鬼になって鬼退治！楽しい豆まきが繰り広げられました。



にらみあい！
まけないぞ！



まいては拾って、拾ってはまいて・・・豆まきは続きます。



みんなの中にある鬼を追い出そう！
すっかり追い出してみんな強い子になりました。

<生活発表会がんばりました！>

1年のまとめとして、子どもたちの育ちを、劇遊びをとおして見ていただいた生活発表会。お話の世界を楽しみながら、友達と一緒に毎日少しずつ遊び、分かりあいながら創りあげてきました。子どもたちの思いがたくさんつまった生活発表会となりました。



年中たんぽぽ組では、『赤ずきん』のお話を読み、みんなて遊んでいく中で、遊びの中でも赤ずきんになって遊ぶ姿が見られるようになりました。

ある日、子どもから「先生、赤いポリ袋欲しい」と声があがり、材料室と一緒に取りに行くと、「青いのも欲しい」と言い出しました。どうするのかな?とと思っていると赤ずきんの赤い頭巾と青い服にするのでした。早速身につけた子どもたちは、お花摘みに出かけます。

年長すみれ組は、『ピーターパン』です。ピーターパンの剣やフック船長のカギを作りだし、より強くカッコいいものになるよう、先生と一緒に試行錯誤しました。ふにゃふにゃになっていたダンボールの剣やカギもしっかりとしたものになり、アルミホイルをつけてピカピカにしました。ピーターとフックになってお話の世界の中で戦います。毎日、戦っているうちに互いの動きを見ながら自分の身体をカッコよく動かすようになり、ピーター役の子とフック船長役の子の息が合ってきて、迫力満点になりました。友達と呼吸を合わせた素敵な姿を見せてくれました。

年少りす組は、『10ぴきのかえる』です。おたまじゃくしになって、「パパね」「ママね」とパパ役ママ役がでてきました。パパ役、ママ役は、おたまじゃくしたちの面倒をみてあげます。「もう遅いから早く寝なさい」「ご飯食べに行くよ」と自分たちの生活と重ね合わせながら遊ぶ年少児でした。また、かえるになってぴよんぴよん跳んだり、ソフト積み木を岩に見立てて置き、ザリガニになって隠れると・・・「ジョキーン」とはさみを振り上げて飛び出していきます。おもしろくて「ジョキーン」「ジョキーン」と何度も飛び出していました。

りす組 10ぴきのかえる

帰るぞ帰るぞ帰るんだ!
ひょうたん沼に帰るんだ!



大好きなひょうたん沼から、コンクリートの池に入れられた10ぴきのおたまじゃくしたち。あれあれ?足が生えてきて、手が生えた!ぴよんぴよん跳べる!かえるになった!これでひょうたん沼に帰るぞ!



みんなで力を合わせ、励まし助け合いながら、ひょうたん沼をめざして帰ろうとするなかよし10ぴきのかえるたちになって表現することを楽しみました。

たんぽぽ組 赤ずきん



「どうしておばあさんの耳はそんなに大きいのか？」
「おまえの声がよく聞こえるようにさ」



おや! おおかみが寝ているぞ!



おばあさんを思う赤ずきんのやさしさや、それをねらうおおかみなど、登場人物の気持ちを感じながら、お話の世界を楽しみました。

すみれ組 ピーターパン



おれたち探検隊!俺たち探検隊!
おや?なんかおかしいな。木が動いた?!



おれたち 海賊♪
歌う海賊たち
フック船長
ばんざい!



フック船長!
許さないぞ!



ピーターパン、生
きていたのか!

ウェンディのやさしさ・温かさやみんなを守ろうとするピーターパンの勇敢さを感じながら、お話の世界を楽しむとともに、自分たちで劇を創りあげた喜びを味わいました。

<じゃがいもをうえました！>

いつも御世話になっている、子どもたちが大好きな A さんの畑で、今回はじゃがいもを植えました。A さんがは、子どもたちが植えやすいように畝の中央をくぼませて耕し、植える場所が分かるように印となる色テープをつけたロープを置いて子どもたちを待ってくださっていました。



切って乾かしておいた種芋を幼稚園から運びます。来年度にリーダーになる年中たんぽぽ組が種芋を運んでくれました。

一つのたねいもから、たくさんのジャガイモができるんだよ!

A さんのお話を聞くと、「そんなにたくさんできるんだ!」と子どもたちはびっくりするやら嬉しいやらの表情でした。



A さんの置いてくれたロープの印のところに植えていく子どもたち。この印のおかげで、子どもたちはちゃんと自分で植えることができました。



種芋を置いたら土のお布団をかぶせます。「手をブルドーザーにしてかぶせるんだよ」と A さんは声をかけてくださいました。

土のお布団をかぶせていると、どこからともなく「おいしくなあれ」「おいしくなあれ」……と“おいしくなれコール”が起こりました。それは、隣の子へ、隣の子へと広がっていきました。おいしいジャガイモがたくさんできますように!と胸を膨らませる子どもたちでした。芽が出ているかな、伸びてきたかな、葉っぱがついたかな、と楽しみに足を運び、見に来たいと思います。

<春みつけた！>



じゃがいもを植えて幼稚園に帰ろうとした時です。菜の花にたくさんのミツバチが群れているのを発見！

とても暖かい日だったので、虫さんも喜んでやってきたのでしょう。

その様子をじっと見つめる子どもたち。

少し離れたところに、草花を見つけました。先生が一つ摘むと「欲しい」「ぼくも欲しい」「私も欲しい」と言い出し、「入って摘んでもいいよ」と言うと花を摘み出しました。見つけた草花は下の左の2つ。「なんていうお花かな?」「幼稚園に帰って調べてみよう」…そして図鑑で調べて“ほとけのざ”と“ぺんぺんぐさ(なずな)”と教えてくれました。



この日は2月28日。とても暖かい日でした。もっと春を見つけに行こう！3月にまたお散歩の予定です。